

グラフで見る 県内経済

【概況】 緩やかに持ち直している

設備投資と個人消費は持ち直している。一方、住宅投資は弱含んでいる

生産活動

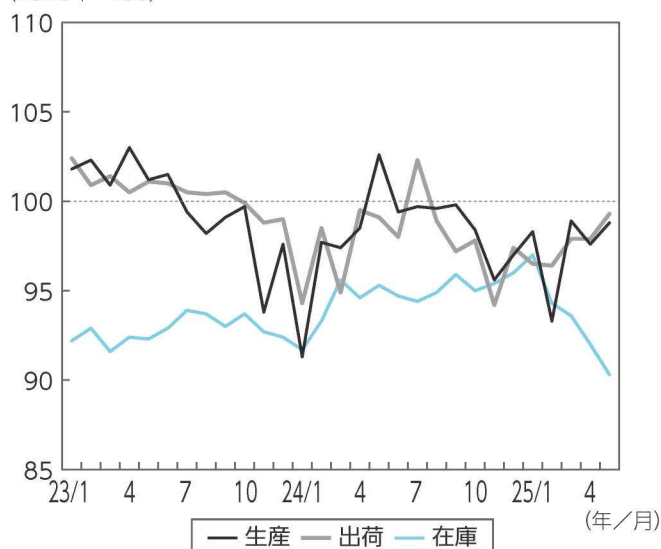
横ばいで推移している

- ◆ 5月の鉱工業生産指数（季節調整値）は、前月比1.2%上昇の98.8となった。出荷指数は同1.4%上昇の99.3となった。在庫指数は同1.8%低下の90.3となった。
- ◆ 食料品は量販店向けが堅調に推移し、高水準での生産が続いている。
- ◆ 化学は生成AIの需要拡大に伴い、関連製品が好調となっているものの、一部で在庫調整が続き受注が回復しないことから、増勢が鈍化している。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械は国内で省力化製品などに底堅さがみられる一方、中国など海外向けが不調であり、横ばいで推移している。
- ◆ 金属製品は建築用製品や家庭向け調理器具などを中心に、弱い動きとなっている。
- ◆ 3～5月期の3カ月平均値でみた在庫循環図^(注)では、「意図せざる在庫減局面」にある。

(注) 在庫循環図: 出荷と在庫の伸び率を比較することによって景気循環を判断する図。循環図では景気循環に応じて、①意図せざる在庫減局面→②在庫積み増し局面→③在庫積み上がり局面→④在庫調整局面、という動きとなり、理論上は反時計回りで変化する

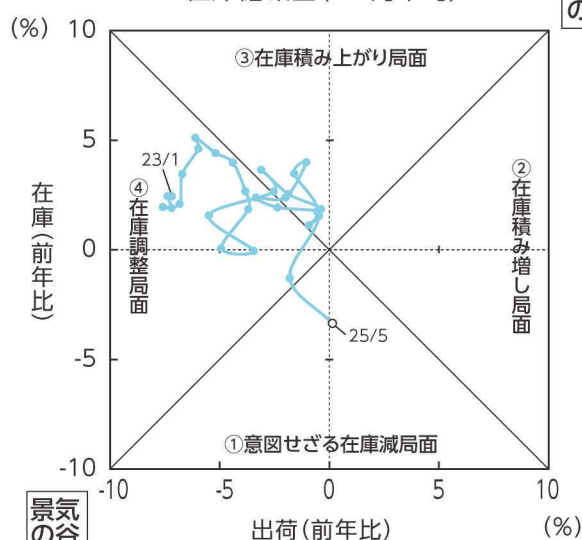
鉱工業(生産・出荷・在庫) 指数(季節調整値)

(2020年=100)



(資料) 新潟県「新潟県鉱工業指数」

在庫循環図(3カ月平均)



(資料) 新潟県「新潟県鉱工業指数」

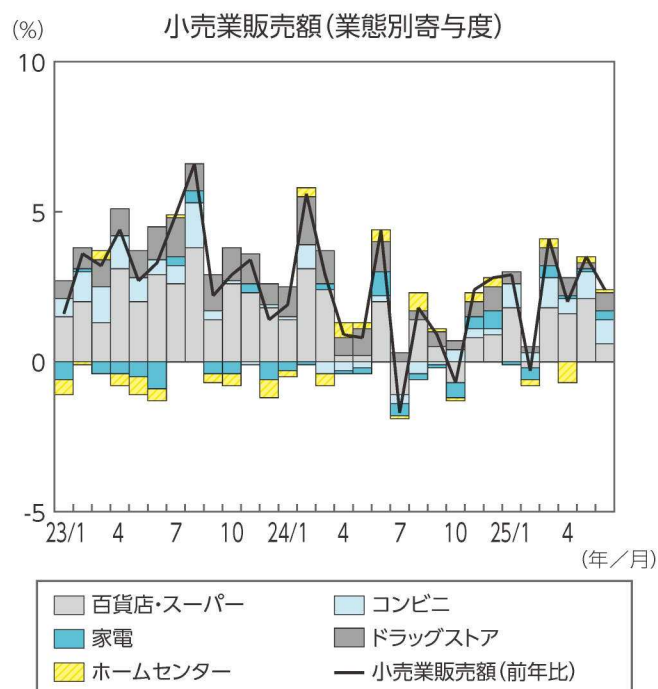
(注) 指数は3カ月後方移動平均で算出

個人消費

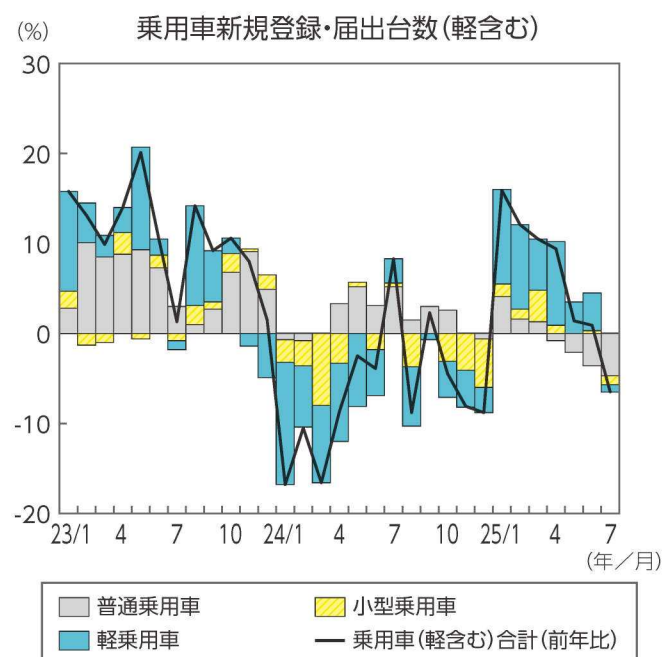
持ち直している

- ◆ 6月の小売業販売額^(注)は前年比2.4%増となった。コンビニエンスストアなどの増加により、4カ月連続で前年を上回った。
- ◆ 7月の乗用車（軽含む）新規登録・届出台数は前年比6.5%減となり、7カ月ぶりに前年を下回った。
- ◆ 普通乗用車の新規登録・届出台数は前年比13.3%減の2,013台となった。
- ◆ 小型乗用車は前年比5.1%減の1,261台となった。
- ◆ 軽乗用車は前年比1.9%減の2,908台となった。

(注)小売業販売額：経済産業省「商業動態統計」の百貨店・スーパー、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンター、コンビニエンスストアの全店販売額を合計したもの



(資料)経済産業省「商業動態統計」

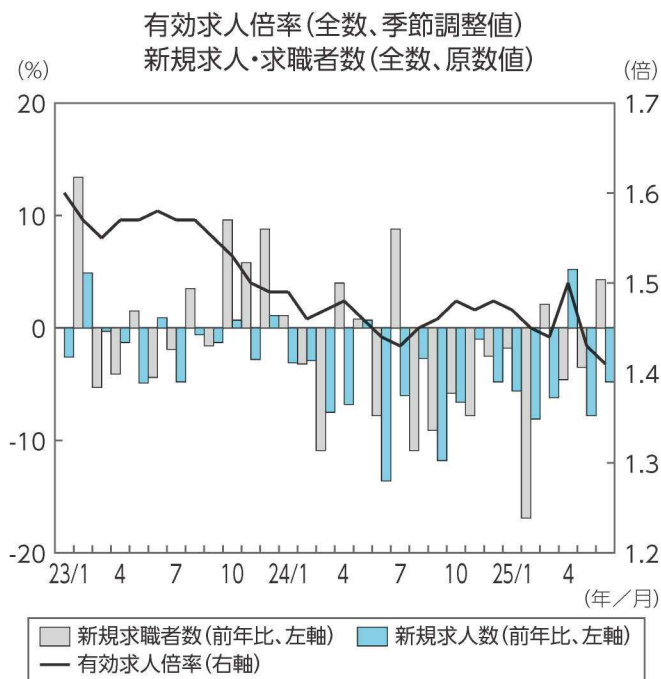


(資料)国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局
「新潟県新車新規登録・届出台数調」

雇 用

横ばいで推移している

- ◆ 6月の有効求人倍率（パートタイム含む全数・季節調整済）は1.41倍となった。前月比0.02ポイント低下し、2カ月連続で前月を下回った。
- ◆ 6月の新規求人数（同・実数）は前年比4.8%減となった。製造業などが減少し、2カ月連続で前年を下回ったものの、労働需給の逼迫は続いている。
- ◆ 雇用保険の受給資格決定件数は5カ月ぶりに、受給者実人数は6カ月ぶりに前年を上回った。

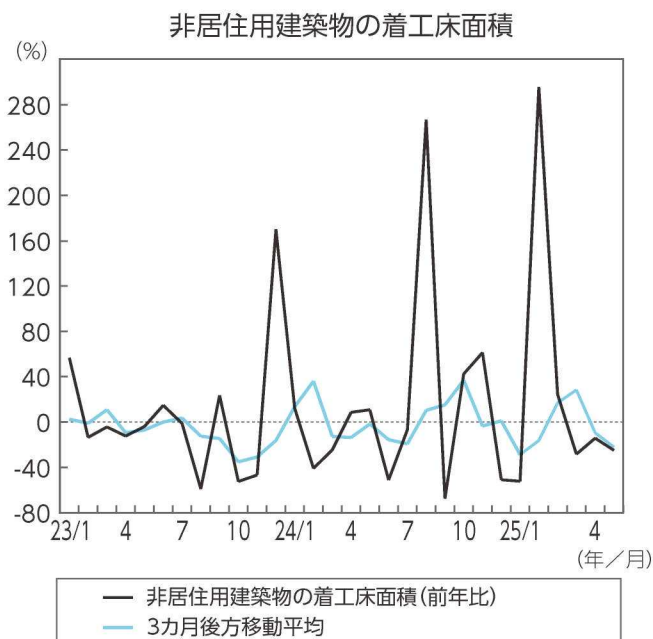


(資料) 厚生労働省新潟労働局「一般職業紹介状況」
厚生労働省新潟労働局「労働市場月報」

設備投資

持ち直している

- ◆ 当社が5月に実施した企業動向調査によると、2025年度の設備投資額は24年度比9.6%増となった。
- ◆ 製造業では、一般機械で工場や事務所新設などの大型投資が実施されるほか、その他製造で生産能力増大のための投資が伸びており、投資額は前年比増加となっている。
- ◆ 非製造業では、省エネルギーを目的とした投資が続いている。ただし、小売では前年に店舗新設のため大規模な投資があった反動が出ており、全体でみると投資額は前年をやや下回っている。
- ◆ 6月の非居住用建築物着工床面積は前年比25.0%減となり、3カ月連続で前年を下回った。



(資料) 国土交通省「建築着工統計」

住宅投資

弱含んでいる

- ◆ 6月の新設住宅着工戸数は前年比4.9%減となった。マンションの新設着工により分譲が増加したものの、貸家や持家などが減少したことから、3カ月連続で前年を下回った。
- ◆ 持家の着工戸数は前年比14.4%減の417戸となった。
- ◆ 貸家は前年比60.3%減の73戸となった。
- ◆ 分譲は前年比223.9%増の217戸となった。

